

授業コード	11381	科目名	労働経済論		担当者		小田 利広		
		副題		開講期	前期集中	単位数	2	DP対応	S1～3
【授業概要】									
労働経済の基礎知識を解説する。時事問題となる最新のニュースなど具体的な事例から分かりやすい講義を行う。企業訪問を行うことで生産の現場から労務管理と労働の実態を学ぶ。									
【到達目標】									
講義を通じて労働市場の変遷を理解し、説明できる。 フィールドワークを通じて労働の現場を観察して働くという意味を自分なりに考えることができる。 企業訪問から人との協調や配慮する必要性を理解し、実践できる。 発表とディスカッションにより、学んだ内容を考察、整理して人に分かりやすく伝えることができる。 創造的な意見を述べることができる。									
【授業方法・計画】									
パワーポイントを使った講義とフィールドワーク、学生によるプレゼンテーション、ディスカッションを総合して行う。									
第1回	労働経済概説								
第2回	戦後労働市場の変遷								
第3回	日本的経営の特徴 終身雇用、年功賃金、企業別組合の効果								
第4回	日本的経営の特徴 OJTの効果								
第5回	グローバル化時代における日本的経営の変容 非正規、派遣労働者								
第6回	グローバル化時代における日本的経営の変容 少子高齢化、外国人労働者								
第7回	フィールドワーク 世界に羽ばたくモノづくり優良企業訪問、日本的経営の再構築								
第8回	グローバル経営と日本的経営1								
第9回	フィールドワーク 世界に羽ばたくモノづくり優良企業訪問、日本的経営の再構築								
第10回	フィールドワーク 訪問企業についてのディスカッション								
第11回	グローバル経営と日本的経営2								
第12回	学生による発表とディスカッション								
第13回	学生による発表とディスカッション								
第14回	まとめ								
【準備学習・復習】									
講義用レジュメやノートへ授業の内容をメモをすること。講義に対し、積極的に質問、議論することを歓迎する。 事前学習：講義と訪問企業について、事前に関係する資料を配付するので目を通し、確認しておくこと。加えて講義では、前もって講義の論点を提示するので備えておくこと(60分程度)。 復習：講義中に提示した内容を期日までに回答すること。返却した課題レポートを読み返し、ノートに整理しておくこと。企業訪問ではメモとディスカッションの内容をノートに整理すること(140分程度)									
【課題に対するフィードバックの方法】									
学生が行う、発表やディスカッションへコメントして学習の理解度を深める。学生のレポート答案を回収したあと、コメントして学生の学習熟度を高める。質問は授業中、事業終了後、教室とフィールドワークの中で受けつける。									
【受講上のアドバイスおよび注意事項】									
日々、動いている企業経営の現場から世界の動きを考えよう。本講座を通じて社会に出て働く意味を深く考える機会となってもらいたい。講師へ講座での質問や率直な感想、意見を歓迎する。 フィールドワークでは交通費が実費となります。往復2千円程度。									
成績評価方法	『発表とディスカッション』：フィールドワークをもとに実施する。自分で考え発表し、分かりやすく伝える力40% 『試験』：受講を通じて選択したテーマにもとづいたレポート。文章にまとめる力60%								
教科書	使いません(毎回、プリント、資料を配付します)								
参考書	講義、ディスカッションの中で紹介します。								
	授業に関連する実務経験				中小企業向け経営支援を実施、経営相談。各種認証取得、補助金申請、経営者向け経営塾を主宰など。				